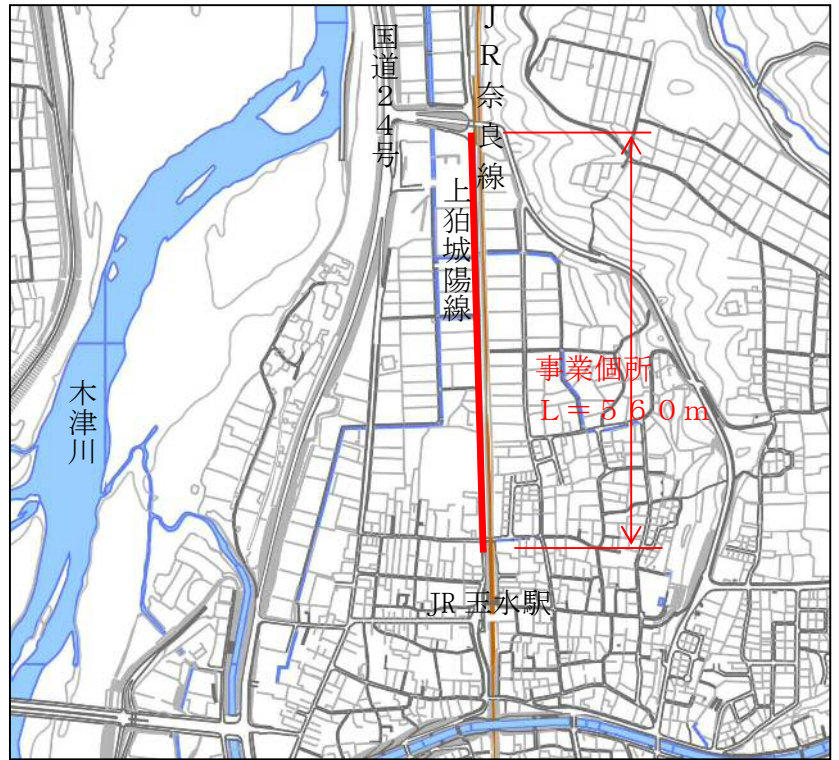


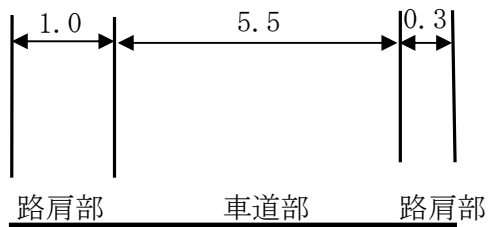
道路事業事前評価調書

| 路線・河川等名 | | 主要地方道 <small>かみこまじょうよう</small> 上狛城陽線 | 事業名 | 防災・安全交付金 | 補助・単独の別 | 補助 |
|------------------|-----------------------------|---|----------|--|---------|----|
| 事業主体 | | 京都府 | 事業箇所（区間） | <small>つづきぐん</small> 綴喜郡井手町井手 <small>いで</small> 地内 | | |
| 事業概要 | 目的 | <p>主要地方道上狛城陽線は、木津川市山城町上狛宝本を起点とし、城陽市長池北清水に至る延長約 13km の幹線道路で、京都府南部の山城地域の南北を結ぶ重要な路線である。</p> <p>本事業区間周辺は人家連担地域であり、また、井手小学校への通学や JR 玉水駅から沿道の事業所への通勤の経路となっているが、歩道が未整備で歩行者と車両が輻輳し、非常に危険な状態となっている。また、近年の台風時には冠水により長時間の通行規制が発生しており、冠水対策が必要となっている。</p> <p>本事業は、歩道の整備及び道路の嵩上げを行い、安全かつ災害に強い道路空間を確保するものである。</p> | | | | |
| | 内容 | <p>整備延長：L=560m 計画幅員：W=6.0 (10.0) m 2車線 歩道等：片側 2.5m 事業費：約 8 億円</p> | | | | |
| | 上位計画等 | <p>京都府夢実現プラン 山城地域振興計画 井手町通学路交通安全プログラム</p> | | | | |
| 事業の社会経済情勢及び地元情勢等 | 事業を巡る社会経済情勢等 | <p>○自動車交通量 5,219 台/日 (H27 センサス) ○自転車交通量 71 台/12h (") ○歩行者交通量 326 人/12h (") ○歩道が未整備のため歩行者等は路肩を通行しており、安全で円滑な通行ができない状況。 ○井手町通学路交通安全プログラムの要対策箇所に位置付けられていることから、早期の歩道整備が求められている。 ○平成 29 年の台風 21 号時に道路冠水により約 21 時間の通行止を実施</p> | | | | |
| 事業の有効性 | 事業の効果及び費用対便益等 | <p>○歩道等の整備とともに、道路の嵩上げを実施することにより、歩行者等の安全な歩行空間が確保され、同時に災害に強い自動車交通機能が確保される。 ○井手町の中心駅である JR 玉水駅までの安全な歩行空間が確保される。</p> | | | | |
| 事業の効率性等 | コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全 | <p>○バリアフリー構造の歩道等を整備し、歩行者等の交通環境が改善される。 ○歩行者等と車両を分断することで、交通の円滑化が図られる。 ○二次製品を積極的に使用しコスト縮減を図る。</p> | | | | |
| 総合評価 | | <p>本事業は、歩行者の安全性の向上等を図るために、新規着手の必要がある。</p> | | | | |

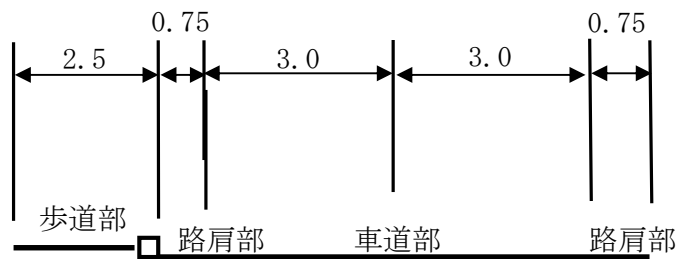
【位置図】



【標準断面図（改良前）】



【標準断面図（改良後）】



【現況写真】



わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

| | |
|-------|------------|
| 作成年月日 | 令和3年3月 日 |
| 作成部署 | 建設交通部道路管理課 |

| | | | |
|----------|---|------|-------------|
| 事業名 | (主)上狛城陽線 防災・安全交付金事業 | 地区名 | 綴喜郡井手町井手 地内 |
| 概算事業費 | 約8億円 | 事業期間 | 令和3年度～ |
| 事業概要 | 歩道等整備 L=560m W=6.0 (10.0) m | | |
| 目指すべき環境像 | 主要地方道上狛城陽線(井手)は、歩道が未整備であることから、歩行者が車両と輻輳し、非常に危険な状態となっている。 井手町通学路交通安全プログラム等に基づき、歩道等の整備を行うことにより、円滑な車両交通の確保と安全な通行空間を確保するものである。 | | |
| 関連する公共事業 | | | |

| | 評価項目 | | 施工地の環境特性と目標 | 環境配慮・環境創造のための措置内容 | 環境評価 |
|-----------|-----------------------------|------|---|--|------|
| | 主要な評価の視点 | 選定要否 | | | |
| 地球環境・自然環境 | 地球温暖化(CO ₂ 排出量等) | | 当該地は木津川右岸の氾濫原に位置するが、現況宅地及び農地である。 特に配慮すべき地球環境、自然環境は見られない。 | | |
| | 地形・地質 | | | | |
| | 物質循環(土砂移動) | | | | |
| | 野生生物・絶滅危惧種 | | | | |
| | 生態系 | | | | |
| | その他 | | | | |
| 生活環境 | ユニバーサルデザイン | ○ | 当該地は通学路交通安全プログラムの要対策箇所であるが、歩道等が未整備であり、安全な通行空間を確保する必要がある。 事業実施に伴い騒音・振動が予測される。 | バリアフリー構造の歩道を設置し、誰もが安全に通行できるように歩道等を整備する。 早朝、夜間の工事を極力避けるとともに、低振動、低騒音の建設機械を積極的に使用する。 | 5 |
| | 水環境・水循環 | | | | |
| | 大気環境 | | | | |
| | 土壌・地盤環境 | | | | |
| | 騒音・振動 | ○ | | | |
| | 廃棄物・リサイクル | | | | |
| | 化学物質・粉じん等 | | | | |
| | 電磁波・電波・日照 | | | | |
| その他 | | | | | |
| 地域個性・文化環境 | 景観 | ○ | 井手町の玄関口である玉水駅に近く、景観に配慮が必要。鉄道沿いで遮るものが少なく、里山まで見通すことができる。 | 防護柵等の道路施設については必要以上に地域景観を阻害しないよう配慮が必要。 | 3 |
| | 里山の保全 | | | | |
| | 地域の文化資産 | | | | |
| | 伝統的行祭事 | | | | |
| | 地域住民との協働 | | | | |
| | その他 | | | | |

| | |
|------|--|
| 外部評価 | |
|------|--|